

研究課題名	全国疫学調査に基づく顆粒状 C3 皮膚症の疾患概念の確立と病態解明
研究の意義・目的	本研究は和歌山県立医科大学が中心となるで行う研究です。顆粒状 C3 皮膚症という病気はどういうものか、遺伝子が関係している病気かどうかを調べます。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日から 2026 年 3 月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2016年1月～2026年3月に、顆粒状 C3 皮膚症の診断または治療のために本学に受診または入院された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：【血液、皮膚組織】 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ】 文書で同意をいただいていない方の試料は遺伝子の研究には使いません。蛍光抗体法・免疫プロット法、補体活性化の機能アッセイ、質量分析、補体活性化物質測定の研究に使わせてください。
試料・情報の他機関への提供	この研究は 和歌山県立医科大学皮膚科へ頂いた試料・情報を提供します。その際は、特定の個人を識別できない形で提供します。
この研究を行っている共同研究機関	国立研究開発法人医薬基盤・健康栄養研究所 プロジェクトリーダー 足立 淳 神戸大学大学院医学研究科皮膚科学 助教 福本 毅 川崎医科大学 皮膚科学 教授 青山 裕美 川崎医科大学総合医療センター皮膚科 副部長 山本 剛伸 久留米大医学部学皮膚科学 准教授 石井 文人
試料・情報を管理する責任者	代表研究機関・研究代表者 和歌山県立医科大学 皮膚科 神人 正寿
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 皮膚病態学 (担当者氏名) 鶴田 大輔 電話番号：06-6645-3826